

2018. 04. 01

札幌商工会議所付属専門学校 シラバス作成ガイドライン

学生にとって各科目で何を身に付けることができるか。学習成果がどのように評価されるのかなど、シラバスは学生に学びの指針を与え、学びの支援をするものであります。また、教員にとっては教育計画の系統性、一貫性を保つための自己点検ツールでもあります。今後、シラバス内容の点検、シラバスを見直しを組織的に検討していきます。

札幌商工会議所付属専門学校
校長 山田義弘

1. 記載要領

(1) 授業科目名

内容がイメージできる科目名で示す

例 WEB デザイン、簿記の基礎

(2) 授業期間、単位・時間数、担当者の明記

学生に対して授業期間、授業単位・時間数を明確に示し、学生に対してどの時点からどれくらいの時間で実施するかを示す。

例 授業期間：1 年次 4 月～11 月

単位・時間数：6 単位(90 時間)

(3) 科目担当者の実務経験についての明記

各科目指導に当たる担当教員の実務経験がある者の明記をする

例 教科担当：〇〇〇〇 (実務経験者：経歴記載する)

(4) 講義の目的及び概要

教員の視点から授業科目の持つ意義を学生に明確に示す。学科の教育目標、他の科目との関連などを示すことによって、学生に対して系統的な学習の視点を与えるようにする。また、学生の興味・関心を高め、学習意欲を喚起することを目指した内容にする。

例 WEB サイトの基本的な作成方法、PC をはじめ、タブレット、スマートフォンなど多様な情報機器への表示が柔軟に対応できるレスポンシブデザインについて学び、使い勝ってや見栄えを向上させる方法について学びます。

(5) 講義方法

板書、プロジェクター、コンピュータを使用した機器の使用の有無、講義形式、グループ学習方式など具体的に示す。

例 コンピュータを使用した演習形式で学びます。また、e-learning を活用して、実践的な WEB サイト作りを行ないます。

(6) 授業内容・計画

授業期間に合わせて、どのような項目を実施するかを明示する。

- 例 1. HTML タグの基本
- 2. WEB ページにおける段組み
- ：

(7) 到達目標

学生に講義の目的および概要にもとづき、学生の視点で到達目標を示す。

学習の有効性、職業と結びつけたメリット等が説明でき、学生にとっての行動目標などを示す。

例 テーマに沿った WEB サイトの作成ができる。

(8) 目標検定・受験時期

学生の到達レベルを測るため、また、就職時の個人評価を高める為、学習内容によって検定試験を受験させることを示す。

例 日商簿記検定試験 3 級

(9) 試験・成績評価

学生が到達すべき目標を達成できたかどうかを評価する方法(定期試験、小テスト、課題、平常点(出席状況、授業態度等))を明確に示す。

例 定期試験 50% 課題 30% 平常点 20%

(10) テキスト・参考文献

授業で使用する教科書、テキストがある場合 書名、著者名、出版社等を明記する。また、参考文献等がある場合も示す。

例 「IT パスポート試験問題集」 出版社：インフォテックサーブ

(11) 学習にあたっての知識・準備等

学生が効率よく学習できるように、事前に必要な知識、準備等を示す。

例 業種や分野を問わず、出来るだけ多くの WEB サイトを閲覧して使いやすさや見やすさなどを調べておくこと。

※シラバスは基本変更できません。やむを得ず変更する場合は、学生に説明の上教務部まで連絡をすること。